

***** 会長あいさつ *****

会長 谷 雅雄

財団法人東京都スキー連盟は、約10年の間、不幸な出来事からさまざまなことが起き、その立て直しの間、当時の執行者においては心苦しい運営の期間を経てきていると思っております。また、平成11年度には、追い打ちをかけるように、一般会計の運営資金ショートを起こしそうになった結果、理事会にて異例の予算決算編成委員会を立ち上げ、その後始末と平成12年度予算を編成することとなりました。その予算編成委員会において、過去の財政状況の悪化推移と今後の展望について審議、検討し、財政の健全化と改善、予算編成のもととなる考え方、執行管理のあり方などが築かれ、きょうの財政状況の改善と健全化に至っております。

当時、各加盟団体、会員の皆様への負担増は平成11年度の赤字を埋めるための単純な負担増ではなく、経常事業その他という各資産収支の内容をチェックし、適正化と健全化を図るための見直しによる負担増となったものでした。これらの経緯を踏まえ、ここ四、五年の間の財政状況と執行理念は安定し、今までの連盟にはなかった新しい執行管理の考え方が築き上げられたと思っております。しかしながら、その考え方を理解できず、浅い考えのもとに執行が行われた場合は、いつでもすぐもとに戻ってしまう危険性をはらんでいることを大変危惧しております。これは、我々執行部の自戒ということも含めてでございます。

これらの歴史を踏まえ、ようやくここ一、二年、財団法人東京都スキー連盟は将来、未来を考えることができる足場に立ったものと理解しております。平成17年度執行体制は前執行部の2人の理事が退任しましたが、2名の理事が新任され、14名の再任理事とあわせ、16名の少数編成となっております。この少数編成については、執行部ではいかんともしがたく、各加盟団体と評議員の皆様の出された結果と真摯にとらえることしかできないのが現状です。我々執行部は与えられた環境と状況を踏まえ、この16人体制で事をなし、ベストを尽くすことこそが使命と考えております。

今後の連盟運営の基本となるべくものとして、加盟団体と会員の皆様に直結する連盟の各本部事業、行事については、当然のごとく、確実な執行と運営、さらなる質の向上を目指し進めていかなければならないと考えております。また、連盟運営のもととなる寄附行為と諸規約の不整合の問題を解決すべく、昨年度より規約等審議委員会にお願いし御審議いただき、答申を得ているところです。この答申に基づき成文化をし、整備していきたいと思っております。規約に関する問題のもう一つは、既に財団法人全日本スキー連盟、財団法人日本体育協会などで採用されている倫理規程の制定を考えております。制定までは、財団法人全日本スキー連盟の倫理規程を準拠し、執行していく所存でございます。また、過去からの問題として、事務局の問題について、過去、移転を含め検討されましたが、多くの諸手続が未了であったため凍結状態としております。これを真摯に、拙速にならず、着実な検討をしていきたいと考えております。

これからの連盟は経済的、人的資源、行事、事業の効率化等々、さまざまな条件と環境下において単独で事をなすことが厳しく、難しい時代を迎えると考えております。他の道府県スキー連盟、財団法人全日本スキー連盟、関係関連団体、各スキー業界とのさらなる連携を図ることが大切になると考えております。スキースポーツの連盟として社会的認知度を上げ、スキー界での先進性、先見性をもって考え、執行し、進んでいくことが日本一、二の大きな組織である財団法人東京都スキー連盟として、スキー界に対する責務ではないだろうかと考えております。雪あり県と同様の思考ではなく、雪なし県の東京都だからこそできることではないかと考えます。よりよいものを生み出せるよう努力していく所存です。各加盟団体及び会員の皆様が自分の所属するスキー連盟に誇りを持って、この連盟に所属してよかったと思えるような、他の連盟からもうらやまれるような財団法人東京都スキー連盟にしていくことが執行者として、これからの大きな使命であり、努力しなければならないと考えている点でございます。今後とも、皆様の大きな、温かな御協力をいただきますようお願い申し上げます。



都会のビルの谷間で、心地よい雪風が頬にふれたら それは菅平高原へのいざない。

ようこそ **菅平高原** へ

OPEN 2004-12-03 (Fri)



You can get a marvelous panoramic view.



Kurumayama is looking forward to your coming.



Let's try snowshoe at the snowy mountain!

Love Overdrive
KURUMAYAMA

Bring the snow!

Come and share the excitement!

What do you say to beginner's Great Job!

Good snow riding for all seasons!



車山高原

初心者専用《カメさんクロスコース》新設!

ちびっ子や初心者の方でも安心 上達も早いよ
好評の車山クロスコースもあります

《スキーテストセンター》OPEN!!!

来シーズンモデルの試乗、Tune up
ここでしか買えない限定アクセサリもあります



信州ビーナスライン

車山高原
SKY PARK

●お問い合わせは

車山高原スキー場

〒391-0301 長野県茅野市車山高原

TEL 0266-68-2626

<http://www.kurumayama.com>

総務本部のページ

「加盟団体安全対策担当者講習会」行事報告

2004年11月7日(日)、明治大学附属明治高等学校において「加盟団体安全対策担当者講習会」が開催されました。講習の内容は下記の通りです。

1. 最近のスキー及びスノーボードにおける外傷の特徴
栗山 節郎 (日本鋼管病院 副院長 SAJ教育本部 アドバイザー)
2. ビンディングの機能
藤崎 浩 (マーカージャパン株式会社 販売促進部)
3. 傷害報告集計結果・安全の手引について
酒井 潤 (東京都スキー連盟 安全対策専門委員)

この講習会の参加者は90名でした。(参加申込者総数101名)



終了後、参加者から寄せられたアンケートより・・・

- ・ビンディングの解放値等いろいろ初めて知ることが多く勉強になりました。
- ・知っていると思ったビンディングの知識が間違っており、大変良かった。
- ・安全上非常に重要な講習内容で大変興味深く聞かせていただきました。
- ・全般において非常に興味深い内容で、ビンディングの機能の確認になりました。
- ・外傷と障害の治療はよくわかり、まず予防、次がリハビリの重要性を認識した。
- ・用具の進歩によりケガの内容も変わってきていることが良くわかりました。
- ・初めて参加しましたが、毎年参加しようと思いました。
- ・・・その他、多くのご感想、ご意見、ご希望をいただき、ありがとうございました。これらを参考に今後も充実した内容の講習会を企画したいと思います。「安全の手引」等も参考にさせていただき、事故のない充実したシーズンをお過ごしください。



役員組織図

| | | | | | | |
|---------|-----------|---------|------------|--|--|--|
| | | | 会 長 谷 雅 雄 | | | |
| | | | 副会長 渡 辺 茂 | | | |
| | | | 専務理事 柴 田 博 | | | |
| | | | 監 事 | | | |
| | | | 大 戸 保 男 | | | |
| | | | 眞 鍋 勝 美 | | | |
| | | | 高 橋 寛 司 | | | |
| 総務本部 | 教育本部 | 競技本部 | | | | |
| ●塚本 哲夫○ | ●中根 晴一○ | ●杉崎寿三男○ | | | | |
| 川 渕 誠○ | 増 田 千 春 | 本 部 正 孝 | | | | |
| 久 永 正 利 | 長 谷 川 春 彦 | 宮 崎 健 夫 | | | | |
| 下 野 敏 弘 | 八 巻 秀 樹 | | | | | |
| ●成木 正浩 | | | | | | |
| 高 嶋 忠 之 | | | | | | |

●常務理事

○本部長 ○副本部長

教育本部のページ

見るだけでも楽しいです。参加するともっと面白い。都連のスキーヤーのためのイベントです。お好みのイベントを選んでください。

二つのシニア

- ★ 2回のシリーズ戦を行い、総合成績での勝者を決定！
- ★ 今年度、各組分けは5歳刻みとしました。
- ★ 車山、菅平 両スキー場をお楽しみ下さい。

2005年度 SATシニア技術 選手権大会 第1戦

期 日：2005年1月8日（土）～ 1月9日（日）
会 場：車山高原スキー場
申込期日：2004年11月9日（火）～ 12月4日（土）

2005年度 SATシニア技術 選手権大会 第2戦

期 日：2005年3月5日（土）～ 3月6日（日）
会 場：菅平高原スキー場
申込期日：2005年1月12日（水）～ 2月5日（土）

参加資格：SAT登録会員で男女とも40歳以上。スポーツ障害保険または、これに準ずる傷害保険に加入済みである者。非会員は参加料¥6,000にて参加出来る。

参加費：SAT会員¥5,000 非会員¥6,000（申込み後の返金は致しません）

申込場所：（財）東京都スキー連盟 事務局 03-3262-2491

カービングカップ SATオープンレース

- ★ カービングレースを体験しよう。
- ★ 全日本カービング選手権大会の出場権を争う。
- 全日本出場人数は確定後、HP等でお知らせします。

2005年度SATカービングスキー技術選手権大会

期 日：2005年1月9日（日）～ 1月10日（月）

会 場：車山高原スキー場

参加資格：1級同等レベル以上の技術を有する者。スポーツ障害保険または、これに準ずる傷害保険に加入済みである者。非会員は参加料¥6,000にて参加出来る。

参加費：SAT会員¥5,000 非会員¥6,000（申込み後の返金は致しません）

参加人数：100名

申込期日：2004年11月9日（火）～ 12月4日（土）

申込場所：（財）東京都スキー連盟 事務局 03-3262-2491

教育本部のページ

スキルアップ

★技術選手権大会参加者のトレーニング

★検定種目のトレーニング

★ベーシックなスキー技術のトレーニング

2005年度 SAT技術レベルアップ講習会 I

期 日：2005年1月15日（土）～1月16日（日）

会 場：車山高原スキー場

参加資格：SAT会員とする。スポーツ障害保険または、これに準ずる傷害保険に加入済みである者。非会員は参加料¥18,000にて参加出来る。

参加費：SAT会員¥15,000 非会員¥18,000（申込み後の返金は致しません）

参加人数：100名

申込期日：2004年11月9日（火）～12月4日（土）

申込場所：（財）東京都スキー連盟 事務局 03-3262-2491

技 選 !

★開催日を参加しやすい（土・日）としました。

選考会は（月）です。

第26回 SATスキー技術選手権大会兼 第42回 SAJスキー技術選手権大会出場者選考会

期 日：2005年1月28日（金）～1月31日（月）

会 場：車山高原スキー場

参加資格：SAT登録会員で1級以上の技術を有する者。（SAJ選手権大会出場者は満18歳以上）スポーツ障害保険または、これに準ずる傷害保険に加入済みである者。非会員の者は参加料¥12,000にて参加出来る。

参加費：SAT会員¥10,000 非会員¥12,000（申込み後の返金は致しません）

参加人数：600名

申込期日：2004年11月9日（火）～12月11日（土）

申込場所：（財）東京都スキー連盟 事務局 03-3262-2491

教育本部のページ

指導者養成講習会（準指導員受検者）実技講習ⅠおよびⅡ

期 日：2005年1月8日（土）～10日（月）および2月19日（土）～20日（日）

会 場：菅平高原スキー場

この講習会は、準指受検資格に必要な課程として義務づけられているものです。滑る技能はもちろん、スキー指導の全体像を学び、指導者としての資質を高め、指導者として目的意識を持つことを目的としています。また、上達していく過程を追った指導体系を理解し、実際の指導場面で生かせる力量を身に付ける場として位置づけています。

講習は、理論と実際の滑りを一致させ基本技術の構成・各検定種目のつながりを理解するためのヒントや方向性を示す内容になります。具体的には、体の使い方のメカニズムを理解し、①ベースとなる滑り ②検定のベースとなる滑り ③応用となる滑り の3つの滑りの滑走感覚を自分のものにしていくことを求めている展開になるでしょう。

指導者養成講習会（指導員受検者）実技講習ⅠおよびⅡ

期 日：2005年1月8日（土）～10日（月）および2月5日（土）～6日（日）

会 場：車山高原スキー場

この講習会は、準指と同様に指導員受検に必要な課程です。目的は準指の養成講習会と同様ですが、指導者としての更なる資質の向上を目指します。指導員では習熟度の高さを求められることから、それに相応しい技能水準、表現能力を身に付ける場として位置づけています。また、検定システムの変更（単位制の導入）に対応した講習内容の展開を検討しています。

SAT技術レベルアップ講習会Ⅱ

期 日：2005年2月5日（土）～6日（日）

会 場：菅平高原スキー場

この講習会は、準指導員受検の方を対象に、検定のための傾向と対策に重点をおいて実施するものです。班別講習は少人数制で、講師は検定員を中心に配置する予定です。他に種目別レッスンや模擬検定の実施も予定しております。

検定種目のトレーニングとして、また現在のご自分の滑りのチェックとして活用できる内容です。

準指導員検定会

期 日：2005年3月11日（金）～13日（月）

会 場：菅平高原スキー場

この検定会は、東京都スキー連盟として、現在のスキー環境のマーケットの変化に対応し、時代のニーズに答えられる資質を備えた人材を発掘することを目的としています。指導者としての役割を果たすことができる資質（技能レベル・指導力）を備えていることが基準となります。

公正で客観性や妥当性のある検定会を期して準備を進めています。特にジャッジに関しては、研修や勉強

教育本部のページ

会などを機会の有るごとに実施し、確かな目で判定できるよう万全を期しています。

運営にあたっては、十分な演技ができる状況・条件を整えることや円滑な進行と受検する方の安全を確保することを第一に考えていますので、ご協力をお願いいたします。

SAJ公認B級 検定員検定会

期 日：2005年3月12日（土）～13日（月）

会 場：菅平高原スキー場

この検定会は、準指導員検定種目で実施します。スキーの普及・発展のために検定員が果たす役割は決して小さくありません。確かな検定眼を身に付けることは、指導の現場でダイレクトに役に立つこととなります。技術的視点と評価の基準を再確認して検定に臨んでください。

SAJ公認C級 検定員講習検定会

期 日：2005年3月25日（金）～26日（土）

会 場：菅平高原スキー場

この検定会は、理論と実技の講習を実施し、その後引き続いて検定を行います。実技の講習および検定はVTRを使用して実施する予定です。

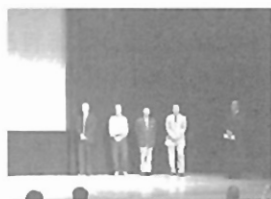
指導の現場で、検定員が果たす役割は決して小さくありません。確かな検定眼を身に付けることは、指導の現場でダイレクトに役に立つこととなります。技術的視点と評価の基準を自分のものにして検定に臨んでください。

教育本部 検定委員長 鈴木 充

指導員研修会理論Ⅰ

2004年9月26日（日）なかのZERO大ホール

講師 平川仁彦氏



競技本部のページ

アルペン競技で、よくあるルール違反など

回転、大回転などのアルペン競技はスピードからくる判定の困難性や競技成立のための繊細な判断が求められるものといえるでしょう。勿論都連主管行事等に出場される選手諸君は、各クラブ内で競技技術とあいまって、最低限必要な競技ルールは習得されているものと思われませんが、競技に集中するあまり陥り易いルール違反を実例に基づいて紹介いたしますので、参考とされまして選手の皆さんと競技役員が気持ちよく競技会が楽しめるようにしようではありませんか

1. 比較的多く発生しているもの

(1) 途中棄権者がフィニッシュラインを通過

競技は、スタート審判によってスタートの正当性が認められ、旗門審判員による決められた旗門ラインの通過の判定、そしてフィニッシュ審判による競技終了の判定で所要タイムが計測され、主審の確認ののち公式発表となるわけですが、自らが旗門不通過等で競技中断（終了）を意志表示した場合は、フィニッシュ審判の判定を仰ぐこと、そしてフィニッシュラインに設定されている計測システムによって所要タイムを要求することは、競技運営上からも重大な障害となり、ルール違反です。競技途中で自らの失敗等で終了（放棄）する場合は、周囲の競技役員に明確に分かるように意志表示を必ずして、コースサイドに出て安全を確かめつつ、コース外に出て下さい。

(2) 制限時間を超えてのクレーム

競技役員は、大会を迅速かつ安全に進行させるためにあらゆる努力を段取りよく積み重ねていますが、仮発表したのち主審の確認が終了したならば、直ちに公式成績に切り替えて発表します。ですから、競技役員は時間管理も相当厳重に行っています。しかしながら、選手会において競技委員長が説明したにも関わらず〔仮発表後すみやかに（概ね15分以内）〕公式発表後約1時間経過してから、「私は失格していません。」等との抗議がなされる場合があります。審判団は厳格なるシステムのなかで慎重に判定したものを時間を遡って再調査することは、競技運営上からも重大な障害となり、却下される場合があります。

2. 時々発生しているもの

(1) エントリーミス

選手会や、甚だしい場合は競技中において「私は男子2部のクラスではありません。男子3部です。」などと申し出でくる選手が存在します。競技本部専門委員会を中心とした競技委員会においては在京作業の重要な項目として、申し込み資格や出発順番等をジュリーメンバーが責任をもって、慎重かつ厳正に行っております。十分にチェックしたにも関わらずこのような抗議は、役員側も極度の緊張等を覚えます。しかし、よくよく調査を進めるとエントリー用紙には「男子2部」と記載されており、OC等にも何ら責任がないことが判明し、申し込みをしたクラブ内事務担当者のミスであったことが判明し、必然的に抗議者はだんだん恐縮してきます。緊急のジュリー会議によって該当クラスの最終競技者としてスタートを認める事例もありますが、申し込み用紙への記載は慎重の上にも慎重にしてこのようなミスは避けたいものです。本来であれば失格です。

(2) 再レースの申し出で

何らかの理由によって、競技継続が不可能になり、その理由にルール上の正当性が認められたならばジュリーは当該選手の再レースを認めます。しかし、こんなことがありました。競技者は続く旗門がポール損傷等の理由によって競技を中断し、直近の旗門員に事実関係のみを申告し、直ちにスタート地点に行ってその旨を申し出ました。申し出を受けたスタート審判はなにも分かりません。再レースを旗門員に確認を求めたのち、フィニッシュ付近にいるジュリーメンバー若しくはセクレタリーに事情説明と再レースを求める旨を申告し、ジュリーメンバーの決定を経て再レースが認められ、関係主要役員に即刻通達されます。競技上の注意欄等にも記載のとおり、正規の手続きを経てスタート台に立ち、かつ十分に呼吸が整ったのちに万全の態勢で再レースに臨んで下さい。

3. たまに発生しているもの

(1) 競技途中で第三者の援助を受けての競技継続

競技中にスキー板が外れて転倒し、旗門員に運んでもらったスキー板を再び履いて、続く旗門を滑り出し（競技の再開）そのままフィニッシュしようとした。この様子を見ていたフィニッシュ審判とアシスタントTDは、フィニッシュライン直前で当該選手の競技を制止させました。すなわち転倒後たとえ1ミリといえども第三者にスキー板を運んでもらってはいけません。明らかなルール違反です。

(2) フライングスタート

回転競技の場合は、スタート審判が当該競技者に対して「レディーゴー」のコールをしてから3秒以内にスタートしなさい。また大回転の場合は、電子音で10秒前・5, 4, 3, 2, 1, 0・3秒後の合図があります。「0」の電子音がボンと鳴りますが、その前後3秒以内にスタート（競技開始）しなさい。と言うのがルールです。時々これらの決まりを全く無視する選手がいます。スタート台に立ってストックをバーの前に突いて、ソレッ！とばかり勢いよくスタートしてしまいます。明らかなルール違反です。

競技本部 専門委員 河崎 和夫

援助事業について

昨年度実施された指定寄付、マスターズ競技会、夏季セミナーの新規事業は、SATが通常事業として行っている競技会、研修会、検定会以外のスキー業界活性化（衰退傾向の歯止め）につながる事業を開拓していく方針で実施したものでした。

本年度は援助事業として、限られた予算と目にみえる効果が期待できるものとして下記の4つの事業提案の中から“全国学生岩岳大会”に対しての援助・応援を計画し、理事会・評議員会の議を経て決定しています。内容は側面からの大会支援をはじめ、学生大会の上位入賞者・チームが都連競技会にオープン参加する計画も考えられ、学生たちとの交流のなかから新しい広がりが生まれることを期待しています。

また、他の事業提案も時期や契機を計り積極的に取りかかかなければならないと考えています。いずれにしても予算措置のとれている財源が限られた援助のため、目的や方針が共鳴できる団体や個人または業界関係との共同支援の事業になります。

皆様のご理解とご協力が大きな援助・応援となり少しでも活性化の効果がみえてくるよう(財)東京都スキー連盟3本部一丸となって努力致したいと考えています。

記

<提案された援助事業>

事業提案 1.

本来、競技団体としてスタートしたスキー連盟でアルペン競技が低迷から抜け出す兆しがみえる。佐々木選手に続く選手を輩出してくためにもチルドレン（小学生以下）に対する支援は欠かせない。世界で戦えるジュニアを考えるとチルドレンでの基礎プログラムの徹底は欠かせないが、未だ育成マニュアルが確立していない現状がある。現在、出来るのは都連における有望選手に対する支援で、内容としてはコーチングスタッフ派遣費、大会参加費、用具費等の強化補助事業。

事業提案 2.

昨年、今年と準指導員受検者数が激減している（2年で約120名減）。クラブ員及びバッヂテスト受検者の減少によるところが大きい。3月岩岳で行われる全国学生岩岳大会は一時期の隆盛は無いものの参加大学380校5,000人超の大会である。卒業後、スキーから遠ざかる者も多いが、東京近郊への就職や将来のリーダーとなるべく人材が豊富である。

都連クラブ介入を視野にいれ、この大会への援助と都連PRを行うことでパイプを持ち卒業後のスキー活動の場を提供していく、この傾向が全国展開することで会員増強を期待。

事業提案 3.

スキー用具が進化するなかで、これを利用した技術が生まれても不思議が無いところ。しかしながらスキー界は技術に対しては基本普遍型が大半である、元Nチームで活躍した都連会員や大学研究機関等との連携により最先端技術を開発し、アジア、ヨーロッパに発信できるソフトを作成していく研究開発事業。

事業提案 4.

昨シーズン開催の夏季セミナーの反省を基にした、学習と親睦を兼ねたイベント事業。オフの時間帯にもスキーとの関りを持たせていく事業を継続させることを目的にする。また、東京に集中している学識者、メディア、スポーツ業界関係者による“組織経営”“クラブ経営”等のシンポジウムによる意識改革事業。

教育本部理事 増田 千春

名誉役員懇親会

2005年度（財）東京都スキー連盟名誉役員懇親会

昨年までのスクワール麹町から今回アルカディア市ヶ谷に場所を変更し、11月12日（金）に開催しました。今年の出席者は50数名。渡辺副会長の挨拶に始まり、柴田専務理事の総括報告。顧問の菅秀文氏、参与の久保田友江氏、賛助会員で東京都スキー指導員会会長の阿部雄三氏の挨拶があり、今年度から新しく参加になった中澤義昭氏の乾杯で宴が始まりました。2時間ほどの時間があったという間にすぎました。出席者の中に80歳代のかたが何人もおいでになり、皆さんお元気でいらっしゃいます。スキーを続けていくことは長生きの秘訣だと思いました。恒例の集合写真をとって、SAJ理事でもある杉崎競技本部長の閉会のことばで会は終了しました。



名誉役員

【顧問】

| No. | 氏名 | 団体No. | 団体名 | No. | 氏名 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|-------|-------------|-----|------|-------|----------------|
| 1 | 小川 和雄 | 15 | 三田ディモンズクラブ | 4 | 稲垣 彰 | 258 | エスプリレーシング |
| 2 | 浦辻 直 | 61 | 農林水産省スキークラブ | 5 | 井上 衛 | 309 | 日本エイトマンズスキークラブ |
| 3 | 菅 秀文 | 145 | ヴェスタ スキークラブ | 6 | 東 和夫 | 503 | ときわスキークラブ |

【参与】

| No. | 氏名 | 団体No. | 団体名 | No. | 氏名 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|-------|--------------|-----|-------|-------|-----------------|
| 1 | 内田 時雄 | 4 | 東京スキー研究会 | 24 | 佐藤 信男 | 74 | エーデル・スキー・クラブ |
| 2 | 加藤 博 | 4 | 東京スキー研究会 | 25 | 渡邊 宏 | 81 | 朝日新聞東京本社山とスキーの会 |
| 3 | 中澤 義昭 | 4 | 東京スキー研究会 | 26 | 山崎 昌矩 | 92 | 厚生労働省スキークラブ |
| 4 | 与安 康二 | 4 | 東京スキー研究会 | 27 | 湯山 武夫 | 100 | アルススキークラブ |
| 5 | 久保田友江 | 6 | ラッセルスキークラブ | 28 | 斎藤 章 | 106 | トルベ・コムラード |
| 6 | 石井 正一 | 9 | 東京スポーツマンクラブ | 29 | 藤川 侃二 | 112 | 東京すゞらんスキークラブ |
| 7 | 海野 好彦 | 9 | 東京スポーツマンクラブ | 30 | 鈴木 宏 | 144 | 足立区スキー協会 |
| 8 | 春原 利久 | 9 | 東京スポーツマンクラブ | 31 | 野沢 庄一 | 145 | ヴェスタ スキークラブ |
| 9 | 松澤 英一 | 9 | 東京スポーツマンクラブ | 32 | 中島 文夫 | 155 | ヌプリスキー同人 |
| 10 | 鈴木 徳三 | 13 | ブリリアントスキー同人 | 33 | 北川 清次 | 183 | 調布市スキー連盟 |
| 11 | 富田 四郎 | 15 | 三田ディモンズクラブ | 34 | 荒井 哲夫 | 210 | ギッペルススキークラブ |
| 12 | 鈴木 邦雄 | 17 | 世田谷区スキー協会 | 35 | 市川 友之 | 223 | フロンティアスキークラブ |
| 13 | 河野 光代 | 18 | 日本アルペンスキークラブ | 36 | 斎藤 敬三 | 234 | 新宿スキークラブ |
| 14 | 寺澤 東彦 | 18 | 日本アルペンスキークラブ | 37 | 佐藤 善勝 | 259 | 町田市スキー連盟 |
| 15 | 藤岡 秀一 | 18 | 日本アルペンスキークラブ | 38 | 鷹松 誉雄 | 266 | コンガリークラブ |
| 16 | 安井 久 | 20 | 杉並区スキー連盟 | 39 | 金子 賢一 | 270 | 日本パラマウントスキークラブ |
| 17 | 村林 久蔵 | 33 | N T T東京スキー部 | 40 | 水木 秀雄 | | |
| 18 | 塙 辰夫 | 35 | クリスタルスキークラブ | 41 | 河崎 和夫 | 291 | 東京消防庁スキー部 |
| 19 | 相良 直哉 | 38 | エコー・コムラード | 42 | 長谷川 武 | 323 | 日産自動車東京本社スキー部 |
| 20 | 佐藤 隆 | 39 | スカブラ・クラブ | 43 | 鈴木 茂夫 | 333 | デモネージュスキークラブ |
| 21 | 那須 五男 | 39 | スカブラ・クラブ | 44 | 二宮 浩司 | 339 | アーバンスキークラブ |
| 22 | 大出 一水 | 47 | 日体大スキークラブ | 45 | 花田 知之 | 495 | レジアードロ・スキークラブ |
| 23 | 市川 幸徳 | 65 | プレザントスキークラブ | 46 | 本間 尚 | 509 | ロシニョールスキークラブ |

功労指導員等の推薦者リスト

【功労指導員】

| No. | 氏名 | 年齢 | 団体No. | 団体名 | No. | 氏名 | 年齢 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|----|-------|--------------|-----|-------|----|-------|----------------|
| 1 | 片岡 雅雄 | 61 | 23 | 板橋区スキー協会 | 12 | 大津 靖子 | 60 | 158 | 練馬区スキー協会 |
| 2 | 下平 滋 | 65 | 23 | 板橋区スキー協会 | 13 | 石井 弘毅 | 61 | 178 | ときスキークラブ |
| 3 | 野崎 豊治 | 62 | 23 | 板橋区スキー協会 | 14 | 内田 善朗 | 60 | 178 | ときスキークラブ |
| 4 | 齋藤 宣治 | 60 | 24 | 東京カモシカスキークラブ | 15 | 綿引 清明 | 63 | 299 | 青藍クラブ |
| 5 | 一色 守 | 75 | 29 | 立川市スキー連盟 | 16 | 椎林 俊昭 | 65 | 309 | 日本エイトマンズスキークラブ |
| 6 | 井上 完治 | 63 | 31 | 東京ケルンスキークラブ | 17 | 島田 滋 | 60 | 309 | 日本エイトマンズスキークラブ |
| 7 | 廣瀬 恒雄 | 66 | 32 | 東京野歩路会 | 18 | 武内 恵 | 61 | 309 | 日本エイトマンズスキークラブ |
| 8 | 白鳥 雄康 | 64 | 73 | ライネススキークラブ | 19 | 中川 捷一 | 62 | 333 | デモネージュスキークラブ |
| 9 | 金 武男 | 61 | 80 | 武蔵野市スキー連盟 | 20 | 萩原 清 | 60 | 345 | スカオイススキークラブ |
| 10 | 岩浅 義和 | 60 | 84 | G M Cスキークラブ | 21 | 佐藤 紀元 | 62 | 360 | ピラージュスキークラブ |
| 11 | 鷹鷲 龍雄 | 64 | 99 | 目黒区スキー連盟 | 22 | 齋田 耕 | 68 | 402 | T. P. Sクラブ |

| No. | 氏名 | 年齢 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|----|-------|-----------|
| 23 | 齊藤 俊明 | 61 | 412 | 羽村市スキー連盟 |
| 24 | 丹羽 康雄 | 68 | 482 | コパン・ド・スキー |

| No. | 氏名 | 年齢 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|----|-------|-------------|
| 25 | 星山 充 | 67 | 482 | コパン・ド・スキー |
| 26 | 小野寺 誠 | 64 | 534 | ベーシックスキークラブ |

【功労準指導員】

| No. | 氏名 | 年齢 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|----|-------|-------------|
| 1 | 武田 正輝 | 61 | 21 | 東京都庁体育会スキー部 |
| 2 | 藤村 恭司 | 62 | 21 | 東京都庁体育会スキー部 |
| 3 | 吉原 博 | 62 | 23 | 板橋区スキー協会 |
| 4 | 小澤 光弘 | 67 | 29 | 立川市スキー連盟 |
| 5 | 師田 正男 | 69 | 32 | 東京野歩路会 |
| 6 | 船澤 政徳 | 68 | 35 | クリスタルスキークラブ |
| 7 | 須藤 哲 | 63 | 41 | ホワイト・ベア・クラブ |

| No. | 氏名 | 年齢 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|----|-------|-------------|
| 8 | 竹川 文丈 | 68 | 49 | 三鷹市スキー連盟 |
| 9 | 安島 靖夫 | 61 | 70 | 渋谷区スキー連盟 |
| 10 | 安藤 總子 | 71 | 73 | ライネススキークラブ |
| 11 | 安藤 和 | 72 | 73 | ライネススキークラブ |
| 12 | 中島 文夫 | 75 | 155 | ヌプリスキー同人 |
| 13 | 金子 勝臣 | 60 | 345 | スカオイススキークラブ |
| 14 | 川本 國治 | 61 | 393 | リーゼンスキークラブ |

【名誉検定員】

| No. | 氏名 | 年齢 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|----|-------|-------------|
| 1 | 吉住 柳市 | 61 | 4 | 東京スキー研究会 |
| 2 | 浦辻 直 | 72 | 61 | 農林水産省スキークラブ |

| No. | 氏名 | 年齢 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|----|-------|------------|
| 3 | 野中 洋二 | 68 | 68 | 山小屋倶楽部スキー部 |
| 4 | 大津 靖子 | 60 | 158 | 練馬区スキー協会 |

【ドクターパトロール】

| No. | 氏名 | 年齢 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|----|-------|-------------|
| 1 | 根本 明宜 | 40 | 92 | 厚生労働省スキークラブ |
| 2 | 中山 行雄 | 47 | 167 | フリースキークラブ |

| No. | 氏名 | 年齢 | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|----|-------|------------|
| 3 | 山口 真一 | 47 | 167 | フリースキークラブ |
| 4 | 村中 秀人 | 51 | 515 | ヨシマルスキークラブ |



財団法人東京都スキー連盟表彰規程第4条第1項に基づく本年度の表彰団体は、次のとおりとする。

| No. | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|------------------|
| 1. | 461 | 京王電鉄スキークラブ |
| 2. | 462 | スガススキークラブ |
| 3. | 463 | 東京ミタカファーストスキークラブ |
| 4. | 464 | ステップインスキークラブ |

| No. | 団体No. | 団体名 |
|-----|-------|--------------|
| 5. | 465 | ミワサスキークラブ |
| 6. | 466 | 中央スキークラブ |
| 7. | 467 | 中野区スキー協会 |
| 8. | 468 | 東京YMCAスキークラブ |

感謝状贈呈者

| 氏名 | 役職 |
|-------|-----|
| 中澤 義昭 | 前理事 |
| 花田 知之 | 前理事 |



加盟団体紹介

No.432 スノーウィスキークラブ

会長 本間 義朗

私たちのクラブはスノーウィスキークラブと申します。スノー（雪）とウィスキー（酒）のクラブと思われがちですが、スノーウィ（たぶん雪ん子??）たちの意味でスキーが大好きな人たちが集まったスキークラブです。発足はウィンタースポーツ全盛期の1980年にNo.18日本アルペンスキークラブ様のご紹介をいただき、東京都スキー連盟の一クラブとなることが出来ました。当時の高速道路はスキーキャリアを付けた車で大渋滞、電車やバスもスキーを担いだ人たちが賑わっており、街中でも多くのスキーヤーを見受けられました。

当スキークラブの発足のきっかけがたいへんユニークでありまして、発足当時の発起人たちのほとんどの人たちが北海道に籍をおいている人々で占められてたそうです。北海道に本社機構がある会社や東京に本社が有り北海道に支店の有る会社に勤めている人たちが、いずれは北海道に帰る身上では有りますが、東京へ出向中に指導員研修会や様々な行事に参加するために創設されました。当時の社会状況では費やす費用や時間を考えると研修会のためだけに北海道に帰るといことはなかなか厳しかったようです。また、当時から東京都スキー連盟の加盟団体のスキークラブも数年で北海道に帰ることが決まっている会員をなかなか受け入れてもらえないようでした。その様なことが度重なり、思い切って自前のクラブを創ろうという事になったようです。現在のメンバーは北海道からの関係者はいませんが東京都内、三多摩地区、神奈川県と広範囲に及んでいます。以前から仕事の都合や諸般の事情から当クラブに一時的に在籍された（とは言っても数年単位ですが）のち地方に帰られた人も多くいます。また、道連以外の会員ですが当初の見積りでは3年程度の予定がそのまま居ついた会員もいます。都連の中ではユニークな存在だと思いますが、色々と不自由なスキーヤーにとって居心地の良い場を提供する団体を目指しております。肝心の行事関係ですが、以前は年に数回行っておりましたが、回数もだんだん減り、今のところはシーズンに1回ペースで開催できれば良い方です。行事回数が減った分、他クラブの応援や大学のスキー部等のアドバイザースタッフとしての活動が増えてきています。当クラブの今後の活動もSAJの会員倍増キャンペーンに沿うべく頑張る所存でおりますのでよろしくお願い致します。

ホテル シェーンヴァルト

HOTEL Schön Wald

◎料金：1名1泊2食付き、税込

ホテル／¥9,000～ ロッジ／¥6,500～

*但し、年末年始は別料金

*団体様ご相談下さい

◎客室：ホテル／17室 ロッジ／13室

◎定員：ホテル／70名 ロッジ／50名

お申込み、お問い合わせは、

TEL 0261-75-2343

FAX 0261-75-3212

e-mail : s-wald@f6.dion.ne.jp

URL : <http://www.hakubagoryu.com/s-wald>

〒399-9211 長野県北安曇郡白馬村飯森

白馬五竜いいもりゲレンデ内

ホテルを出ると目の前がゲレンデという
最高の立地で、ワンキックでリフトまで
行けるチロル風の
ホテルシェーンヴァルト



オーナーはオーストリア
国家検定スキー教師

山崎 正浩



いちばん幸せな冬。

南関東ブロックスキーマスターズ大会

大会コース練習会

- 日程／1月28日(金)
 - 受付／8:30 ゴールハウス(大沢チロル)2F
 - 開始／9:30～
 - 参加料／2,000円(ゼッケン交付) ※リフト券代別
- ※ スキー学校主催で行っていますので、SATは関与していません。

**JOETSU
KOKUSAI**

上越国際スキー場／ホテルグリーンプラザ上越

〒949-6431 新潟県南魚沼郡塩沢町榊野沢112-1 TEL (025) 782-1028

<http://www.jkokusai.co.jp/>


HOTEL GREEN PLAZA
JOETSU

東京都スキー連盟の皆様へ

グリーンピア津南

早めのシーズンインで春までばっちり滑れちゃう

お任せください!! スキーが目的・合宿場所を探している・競技会場がない・講習会やりたいけど
宿探すの大変、準備・設営が大変、コース整備が大変、そんな悩みの皆様に
プライベートゲレンデのグリーンピア津南は心配無用。
まずは 下記へアクセスを!!

100万坪のリゾートランド グリーンピア津南

<http://www.green-pia.com/tunan/>

お得情報満載
スキーシーズンはもちろんグリーンシーズンも充実

- 団体宿泊・合宿・シーズンオフトレーニングご相談下さい。
- 毎年クロスカントリースキーフェスティバルの会場にも使用されております。
- Course Guide
標高 最上部 965m 最下部 650m 標高差 315m
平均積雪量 340m・最大積雪量 420m
斜面レベル構成 初級 40% 中級 30% 上級 30%
最長滑走距離 最大 2,100m
- ホテル屋内施設
収容 529 名(和室・洋室)
温水プール・ボウリング場・屋内体育館・卓球
2種類の泉質の異なる2ヶ所の温泉(団体貸切可)
- グリーンシーズン屋外施設
テニスコート 13 面・多目的グラウンド・サイクリング
屋外プール・ゴルフ練習場・グラウンドゴルフ
ローラーリュージュ・ランドカー・パターゴルフ・ゴーカート
フィッシングパーク・アスレチック

- インターネットからお問い合わせ可能です。
- お問い合わせ先 〒949-8313 新潟県中魚沼郡津南町秋成
グリーンピア津南 予約デスク 電話0257-65-4611
- 団体宿泊・合宿などのご相談は 担当 上村まで

スキーパック
大人お一人様1泊2食リフト券付
12,000円~



ゴールデンウィークまで雪有り
ゲレンデまで徒歩0分

★宿泊のお問い合わせは★



ホテルニューダボス
〒386-2201 長野県小県郡真田町菅平高原
TEL 0268(74)2066 FAX 0268(74)2711
<http://www.new-davos.com>
<mailto:web@new-davos.com>



各種行事会場になる
裏太郎ゲレンデ内のホテルです



信州 菅平高原

菅平高原東京都スキー連盟受入宿舍会所属・都連公式サポートの宿



ホテルニューダボス ホテル田沢館



菅平高原は、今年でナナナナント77周年！
77周年イベントが盛りだくさん
記名式シーズン券も初登場！！
詳細は菅平高原公式ホームページへどうぞ！



菅平でのお土産は
ホテル直営土産品店

しゃくなげ



日の出ナイターゲレンデ直近
田沢館は都連の皆様を応援
いたします



★宿泊のお問い合わせは★



ホテル田沢館
〒386-2201 長野県小県郡真田町菅平高原
TEL 0268(74)2318 FAX 0268(74)1333
http://www.d6.dion.ne.jp/~h_tazawa
mailto:h_tazawa@d6.dion.ne.jp



カップ・トロフィー
バッジ・メダル
楯・キーホルダー
各種記念品・製造卸



株式会社 渋澤^{キ ショウ}徽章製作所
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-8-6
Phone:03(3264)4238 Fax:03(3264)4260

キモチ晴れ晴れ
パノラマゲレンデ



菅平高原  Hate

Ski & Snowboard Resort

ハーレスキーリゾート

長野県小県郡真田町菅平高原
☎ 0268-74-2137

www.madarao.jp/ski

2004-2005 Winter



斑尾高原スキー場
<http://www.madarao.jp/ski>



GALA YUZAWA SNOW RESORT



おかげさまでOPEN15周年!
記念イベント開催予定!

2004
12/11(土)
OPEN予定



'05シーズンW杯での佐々木明の活躍をご期待ください。



SAJ 16承認第917

GALA湯沢所属 佐々木 明

2004年SL種目別総合11位、第1シード入りを果たし、2006年イタリア・トリノ五輪では有力なメダル候補

SAJ 16承認第916

子供リフト・レンタル料金を大幅値下げ!
子供スキーレンタル5点セット 1日 1,500円!

有資格者リフト券無料!

一般の方を同伴された、指導員・準指導員の皆様は、リフト料金が無料となります。同伴者は20%OFF。ライセンスをインフォメーションカウンターにご提示ください。

'05シーズン各種イベント・大会開催予定
詳細は、ホームページをご覧ください。http://www.gala.co.jp

スキーこどもの日

12・1・2・3月の第3日曜日は小学生のリフト料金は無料となります。



GALA湯沢スキー場

株式会社 ガーラ湯沢 新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢字茅平1039-2

TEL025-785-6543 http://www.gala.co.jp

東京都スキー連盟の皆さまへ



全国に展開するプリンスホテルリゾート。宿泊はもちろん、スキー、ゴルフ、スケート、プール、遊園地などの多彩なレジャー施設を特別料金でご利用いただけます。詳しい内容はインターネットで簡単にご覧いただけます。

www.kokudo.co.jp/keiyaku

インターネットの他にも、詳細パンフレットをご用意いたしております。ご希望の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ・ご予約は、コクド予約係 TEL.(03)3498-8181

◎ご予約受付時間=平日10:00~17:00 土曜日10:00~14:00

KOKUDO

KOKUDO

新富良野プリンスホテル
スキースクール
木村 公宣



サークル活動・合宿・各種大会など、ニーズに合わせて強力にサポートいたします。

【關越エリア】

苗場スキー場、浅貝ゲレンデ、三國スキー場、かぐら・みつまた・田代スキー場、湯沢中里スキー場、土樽スキー場、六日町八海山スキー場、小千谷山本山スキー場、水上高原スキー場

【上信越エリア】

軽井沢プリンスホテルスキー場、軽井沢スケートセンタースノーボードパーク、万座温泉スキー場、表万座スキー場、志賀高原焼部山スキー場、ごりん高原スキー場、妙高杉ノ原スキー場、燕温泉スキー場

【東北エリア】

磐梯スキー場、碓氷スキー場、千畑スキー場、森吉スキー場、阿仁スキー場

【北海道エリア】

真駒内スキー場、深川スキー場、富良野スキー場、糠平温泉スキー場、ニセコ東山スキー場、函館七飯スキー場、津別スキー場

●お問い合わせ・ご予約・資料の請求は、コクド営業部 TEL.(03)5470-8134 担当 佐藤 恭平
◎各スキー場の情報をご覧いただけます。www.princehotels.co.jp/ski

加盟団体紹介

435 てふてふスキークラブ

会長 松岡 秀雄

「てふてふスキーくらぶ」ユニークな（ふざけた）名前と思われるかたも多いと思われませんが、蝶々のように優雅で華麗に滑りたいとの願望から命名したもので私たちにはいたってまじめで愛着とこだわりのあるクラブ名です。

てふてふスキークラブは昭和45年に目黒区役所のスキー愛好者が中心となって発足しました。スキーがなじみもうすぐ贅沢なレジャーと思われていた時代に、参加費をできるだけ安く、安全に上達し、スキーの楽しさを知ってもらうことを目標に活動してきました。活動は蔵王・岩岳・野沢などのスキー行を中心にオフシーズンでもテニス・ゴルフ・バーベキュー大会など多彩に行ってきました。なかでも昭和51年の野沢スキー行では、豪雪で木島平で通行止めとなり、その先の野沢までバスが入らず、16キロの道程をスキー用具を背負って歩いたことはいまだに伝説となっています。又、平成元年の雪不足では「岩岳、石だけ、泥だらけ、板の裏側傷だらけ」という名句(?)も残っています。昭和56年に念願であったSATに加盟しました。加盟はクラブ員の意識にも変化をもたらし、技術も飛躍的に向上し指導員・準指導員も輩出できるようになり、クラブも大きく発展しております。

しかし、設立時には20代30代の若者であった創成期のメンバーも今では還暦近くとなり、クラブ員の高齢化と、新入会員の減、行事の参加者の減少に悩んでおり、若い世代のクラブ員の獲得が課題となっています。今後は生涯スポーツとしてのスキーそしてスキー行事の在り方を探求していきたいと思ひます。



439 青山学院大学イフ基礎スキー愛好会

会長 池田由希子

私達、青山学院大学イフ基礎スキー愛好会（青学イフ）を紹介させていただきます。青学イフは1973年に青山学院大学の学生4名の発起により、基礎スキーを目的に設立された大学公認のクラブとしてスタートをしました。テニスをオフシーズンのトレーニングに加えるユニークな方法を取り、徐々に後輩部員にも恵まれ、70年後半からは白馬や志賀のスキー学校等でアシスタントをする部員も出てくるようになりました。都連加盟のきっかけとなったのは、1981年に当時の会長が準指導員に合格し、所属をしていた大学生協スキークラブの故・中村勉先生からの「独立しろ」の一言でした。加盟申請の理事会では「学生クラブの承認は難しい」との反対もありましたが、卒業後も責任を持って永く活動を行うことを約束に承認をいただきました。現在では指導員、準指導員35名（他県連に移籍して活躍中の者を含む）を擁する、OB会約290名、現役16名の大きなクラブに成長し、昨年で30周年を迎えました。現在の活動は学生をOB会がサポートする形で行われています。含宿への有資格者の派遣や検定会の開催、オフでの各種交流や就職相談等も行われています。また、OB会ではOB同士の交流を目的にスキー合宿やゴルフコンペ等を実施しています。

昨今ではスキー人口が減り、学生も少人数での活動を強いられています。私達青学イフのメンバーはスキーをこよなく愛し、大学生活を共に過ごした仲間です。『今時の若者は...』と批判される事が多い現代の若者ですが、現在の現役学生部員と触れ合うたび、そのスキーへのひたむきさ、素直さ、若さ溢れる姿に創部当時に勝る程のパワーを感じます。今後もスキーの素晴らしさをより多くの人達に伝え、このクラブが永く継続していけるようOB会と現役が力を合わせて努力していきたいと思ひます。最後になりましたが、30年間支えていただいた関係各位の方々へ感謝申し上げますと共に、今後ともご支援をよろしくお願ひいたします。



編集者

委員長 塚本 哲夫
副委員長 下野 敏弘
編集委員 三瓶 一男
伊藤 裕子
小出 千恵子

海老沢 晃 土屋 東明 矢島 かおり
渡辺 里美 打道 隆 加賀 陽子
村山 真三

